

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和5年6月20日(火)

事務事業		高齢者慶祝事業		担当課	長寿福祉課	担当係	長寿福祉係	管理番号	27121	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	3	地域で支え合って生活できるまちづくり	根拠法令 個別計画等	老人福祉法、深谷市高齢者慶祝事業実施要綱					
	小項目	2	高齢者福祉の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		高齢者の長寿のお祝いと多年にわたる社会貢献に敬意を表し、敬老事業を行うことで、市民の高齢者福祉に対する理解と関心を深め、高齢者自らの生活の向上の意欲を促すものである。また、88歳、99歳、満百歳の高齢者及び市内の最高齢者（男・女）に対して慶祝記念品を贈呈するものである。								
目的 ※何のために		市民の間に広く高齢者福祉についての理解と関心を深め、高齢者自らの生活向上の意欲を促す。								
対象 ※誰・何を対象に		75歳以上の高齢者（敬老事業）、88歳、99歳、満百歳、市内最高齢男女								
手段 ※どのように		敬老記念品を贈呈する。 慶祝記念品を贈呈する。								
成果 ※何を求めるか		高齢者に敬意を表し、長寿をお祝いする。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	3	民生費	4	老人福祉費	1	老人福祉総務費	高齢者慶祝事業	30,579,933
本事業の 主な業務		・ 高齢者慶祝事業対象者把握				・ 敬老会招待状の発送				
		・ 高齢者慶祝事業日程調整				・ 敬老会の開催				
		・ 高齢者慶祝事業実施（慶祝記念品贈呈等）				・				
		・ 慶祝記念品の周知				・				
		・ 敬老会対象者の把握				・				
		・ 敬老会開催の日程、開催場所調整				・				

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		慶祝事業（88、99、100、最高齢男女）記念品の贈呈 敬老記念品の贈呈	慶祝事業（88、99、100、最高齢男女）記念品の贈呈 敬老記念品の贈呈	慶祝事業（88、99、100、最高齢男女）記念品の贈呈 敬老記念品の贈呈			
事業費	予算（現額）	30,625,000	35,503,000	39,963,000	44,194,000		
	決算額	26,900,734	30,579,933	0	0		
	国支出金	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	他特定財源	0	0	0	0		
	一般財源	26,900,734	30,579,933	39,963,000	44,194,000		
人件費	従事職員数（人）	2.00	0.95	0.85	0.85		
	人件費相当試算※	15,739,114.00	7,609,657.00	7,106,765.00	7,106,765.00		
総事業費試算		42,639,848	38,189,590	47,069,765	51,300,765		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	敬老会招待状発送者数、R2～ 記念品贈呈数	目標値	人	0.00	0.00	0.00				
		実績値		22,658.00	23,563.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		発送者数に目標はないため、目標値は設定しない。/ 発送者数							
	実績値の算出式									
活動指標 2	慶祝記念品贈呈者数（満88 歳、満99歳）	目標値	人	0.00						
		実績値		851.00	818.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		贈呈者数に目標はないため、目標値は設定しない。 / 贈呈者数							
	実績値の算出式									
活動指標 3	慶祝記念品贈呈者数（満百 歳）	目標値	人	0.00	0.00	0.00				
		実績値		34.00	41.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		贈呈者数に目標はないため、目標値は設定しない。 / 贈呈者数							
	実績値の算出式									
成果指標 1	敬老会出席者数	目標値	人	6,100.00						
		実績値		0.00	0.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		現状維持していくことを目標値として設定する。 / 出席者数（12地区）							
	実績値の算出式									
成果指標 2	敬老会出席率	目標値	%	33.60						
		実績値		0.00	0.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		現状維持していくことを目標値として設定する。 / 出席者数/敬老会対象者							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	敬老記念品発送者数は前年度（22,658人）より、905人増加している。また、慶祝記念品贈呈者については、米寿・白寿は前年度（851人）より33人減少し、満百歳は前年度（34人）より7人増加している。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	令和5年度の敬老会は、令和4年度に引き続き、開催を中止することとなったが、その代替えとして対象者全員に敬老記念品として地域通貨ネギーの配布を行った。
			評価者 長寿福祉係長 山村恵美子

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	令和5年度の敬老会は、開催を中止とし、その代替えとして対象者全員に記念品の配布を行った。令和元年度までの敬老会を開催することに比べ、対象者全員に記念品を郵送したことで、より多くの対象者に記念品を贈呈できた。
			評価者 長寿福祉係長 山村恵美子

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	高齢者慶祝事業	担当課	長寿福祉課	担当係	長寿福祉係	管理番号	27121
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		令和5年度の敬老会は、令和4年度に引き続き開催を中止とした。出席率としては算出できないが、中止の代替として敬老会対象者全員に記念品を配布できた。また、慶祝記念品（満88歳・満99歳対象）については、民生・児童委員からの贈呈方法に戻すことで、安全に配布・贈呈することができた。					
		評価者	長寿福祉課長 村岡圭吾				

上記を実施するための具体的な取組内容は？

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	令和5年度に敬老会開催についてのアンケート調査を実施した。その結果、令和6年度以降は市主催の敬老会を開催せず、敬老事業対象者に敬老記念ネグー(1,000円分)を贈呈することとなった。市主催の敬老会は実施しないが、高齢者の地域交流や社会参加の創出も必要と考え、地区等で開催する敬老会等に補助金を交付する敬老事業補助金の制度を令和6年4月1日から創設した。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	

8. 評価指標グラフ

